

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 4月21日

事業所名 みらいさぽーとmoana2

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9		場面に応じたスペースを設けている	個別室が一か所しかなく遊びが分散したときなど、今後の対策としてパテーションを使用していきたい。
	2	職員の配置数は適切である	8	1	基準以上の職員配置をし、保育士等、有資格者も配置しています。	今後作業療法士等も配置していきたい
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	2	視覚的配慮を行い、絵カードなど使用し情報伝達を行っている	バリアフリーですが、介助が必要な場合は2名以上のスタッフで介助が行えるようにしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7	2	空間を活用し様々な活動に取り組んでいる	空間を利用し今後は、感覚統合遊具なども取り入れていきたい
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	4	ミーティング時にPDCAサイクルを活用して情報を共有しています。パート職員へは出勤後、共有しています。	パート職員が参加できるような時間の調整を検討していきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	3	アンケートとは別に保護者の意向を把握できるようにHUGや送迎時などで保護者とコミュニケーションを図っています	保護者の意向やご意見を職員で話しあい業務改善を行っていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	3		HUGにて活動概要や行事予定を発信していきます。自己評価表は、ホームページにて掲載していきたい
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	4		評価の結果を踏まえ、職員同士で話し合いを設け改善に繋げていきたい
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9		外部講師を招いて研修を行いました	研修で学んだことを職員で共有し統一した支援ができるよう努めます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	1	相談専門員と連携しています。また事前に保護者よりニーズや課題の聞き取りを行っています。	より適切にアセスメントが取れるよう事業所やご自宅以外での様子や園生活など幅広く情報が得られるよう関係機関と連携していきます。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	3	アセスメントツールを使用しています	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	2		ガイドラインの内容に基づいて個別活動や集団活動のプログラムが立案されています
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	1	職員で支援計画を周知し共有意識をもって支援をしています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	9		チーム全体で話し合い立案しています。また外部講師や作業療法士等の助言も参考にしています。	子ども達が楽しんで参加し成長できるように活動プログラムを支援に生かします。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9		季節のプログラムや運動、コグトレ、SST、手指訓練等の様々なプログラムがあります。	定期的に年間プログラム内容の見直しをしていきます。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	9	1	個別活動と集団活動のニーズを把握し、組み合わせ作成しています。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	8	1	業務開始時のミーティングで注意事項や申し送り、活動内容の確認をしています。個別で支援が必要な児童の担当職員を明確にすることで集団活動がスムーズに行えています。	パート職員へは、申し送りノートを作成し出勤後目を通し一日の流れを把握するようにしています。
	18	8	1	終業前にその日の振り返りを行い、児童の特変事項や活動内容の反省点や気づいたことを話し合っています。	送迎等で当日の振り返りが難しい時は翌日に報告を行います。フリーフィンクノートがあります。
	19	7	2	HUGシステムを活用し日々支援内容を記録しています。	
	20	6	3	定期的にモニタリングを行っています。	
関係機関や保護者との連携	21	5	4	児童発達支援管理責任者が参加しています。	児童の担当職員を参加させることもあります。
	22	3	6		今後、必要に応じて連携していきます。
	23	2	7	現在、該当する児童はいません。	医療的ケアが必要な児童を受け入れる場合は主治医等と連絡体制を整えていきます。
	24	2	7	現在、該当する児童はいません。	医療的ケアが必要な児童を受け入れる場合は主治医等と連絡体制を整えていきます。
	25	7	2	関係機関と連携し情報共有しています。	
	26	7	2	関係機関と連携し情報共有しています。	
	27	4	5	専門機関との連携は欠かさず行っています。	研修参加の頻度を増やしていきたいです。また多くの職員が参加できるように検討します。
	28	1	8		コロナ禍のため予定を立てる事が出来ませんでした。状況が落ち着いたら交流を計画していきます。
	29		9		開催時は積極的に参加させていただきます。
	30	8	1	送迎時の申し送りや電話、メール、HUG等のツールを活用して日頃から保護者と情報共有や共通理解に努めています。	
	31	4	5		コロナ禍のため予定を立てる事が出来ませんでした。状況が落ち着いたらペアレント・トレーニングや親子参加のイベントを検討します。
32	8	1	契約時に丁寧な説明を行っています。また契約内容が変更されるたびに説明を行っています。	今後も丁寧な説明に努めます。	
33	7	2	支援計画書に同意のサインを頂いた上で支援を実施しています。	今後も同意を得た上で適切な支援に努めます。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9		送迎やモニタリング会議など、その都度、話しを伺い助言と支援を行っています。	今後も保護者が相談しやすいよう関係を築いていきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		9		コロナ禍のため予定を立てることが出来ませんでした。状況が落ち着いたら保護者会の開催を検討します。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9		相談や申し入れがあった場合は児童発達支援管理責任者へ報告し対応しています。	今後も迅速にかつ適切に対応できるよう、体制を整えていきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	2	毎月の予定表を事前に配布しています。HUGでも活動概要や行事予定等を発信しています。また個別での連絡体制も整えています。	次年度より定期的に会報やおたよりを発行していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9		就業規則に定め、守秘義務を重要に扱っています。個人情報書類は鍵付きの棚で管理を徹底しています。	今後も守秘義務を順守します。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9		個人の特性に配慮しています。	日々試行錯誤し、よりよい情報伝達出来るよう改善していきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	6	近隣の店舗に挨拶は行っている。	ハローウィン・クリスマス等、パレードをしお菓子を貰ったりと近隣の方との交流はある。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	2	マニュアルを整備し事業所内へ掲示しています。	保護者への周知が不十分だったため周知を徹底していきます。またマニュアルを掲示するだけでなく定期的に読み合わせを行います。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	2	年2回、消防署職員を招いて火災避難訓練を実施しています。	火災訓練だけでなく、今後は津波や不審者等の避難訓練も実施していきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	2	保護者から事前に確認し発作時対応のマニュアルを掲示しています。	全職員が周知・対応できよう努めます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	2	アセスメント時に保護者と確認し対応しています。	医師の指示書が確認された場合は指示書に従います。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9		その都度ヒヤリハットを作成しミーティングにて報告、共有しています	全職員へ周知できるよう定期的にヒヤリハット報告会を行っている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	1	年2回、研修を実施しました。また虐待防止研修修了者に伝達研修も行いました。	令和5年4月より虐待防止委員会を設置いたします。今後は委員会を中心に研修の開催や意識の啓発に努めます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	3	運営規定や重要説明書に記載しています。契約時に保護者と読み合わせをして確認をしています。	放課後デイサービス計画に記載の検討をいたします。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。